



会場

行橋市研修センター
西日本工業大学

2025
10.12 SUN
13 MON
11.15 SAT
16 SUN

Fiscal Year 2025 Miraijuku

京築 みらい 塾

令和7年度
京築地域未来の地域リーダー育成プログラム



後援 福岡県教育委員会 協力 西日本工業大学

主催

京築地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会

行橋市／豊前市／苅田町／みやこ町／吉富町／上毛町／築上町／福岡県

行橋市教育委員会／豊前市教育委員会／苅田町教育委員会／みやこ町教育委員会／吉富町教育委員会／上毛町教育委員会／築上町教育委員会

令和7年度「京築みらい塾」では、地域で活躍する地元講師による講義に加え、西日本工業大学のキャンパス見学、そしてグループワークや最終発表を通して、自分たちの地域を真剣に考えてみる4日間を過ごします。地元で挑戦する大人たちのリアルな話を聞き、仲間と議論し、地域の魅力や課題を見つめ直す。そして、自分たちなりの考えを言葉にし、発信する。この4日間で「地域とどう関わるのか」「自分はどんな未来を描きたいのか」を真剣に考える、実践の時間です。参加者それぞれが、自ら問いを立て、学び、行動へとつなげる。京築みらい塾は、その第一歩となる場です。

て、自分たちなりの考えを言葉にし、発信する。この4日間で「地域とどう関わるのか」「自分はどんな未来を描きたいのか」を真剣に考える、実践の時間です。参加者それぞれが、自ら問いを立て、学び、行動へとつなげる。京築みらい塾は、その第一歩となる場です。

2025
10.12 SUN 1 DAY

開講式／オリエンテーション 地域と未来をつなぐ4日間の始まり

- 09:00……………受付／開講式
- 10:00……………オリエンテーション
- 11:00……………仲間づくりワーク
- 13:00……………講義 01
- 14:40……………講義 02
- 16:20……………グループワークA
- 20:30……………個人研修



参加者
27名



講義01

京築の魅力再発見とシビックプライド

title

加藤詩乃氏の講義では、「郷土愛」と「シビックプライド」をテーマに、自分たちの地域をどう見つめ、どう関わるかを考えました。愛知県出身で築上町へ移住した加藤氏は、外からの視点だからこそ見える京築の魅力を語りました。

「ここには何もない」という言葉の裏に隠れている、星空や人の温かさ、地域ならではのつながり。その「当たり前ではない価値」に気づくことから学びは始まりました。

グループワークでは、「京築自慢の一品」や「地

域の魅力再発見」をテーマに、食・景色・イベントなど多角的に地域資源を掘り起こしました。さらに最後には、それらをどのように発信するかを具体的に考え、ターゲットや媒体を意識したPR戦略を発表しました。

「好き」という気持ちを、「好きだから行動したい」へ。この一連の取り組みそのものが、シビックプライドの実践であると加藤氏は語りました。参加者は、自分たちの地域を「自分ごと」として考え、未来へつなぐ第一歩を踏み出しました。

■Three Key Points ——— 地域魅力の再発見／自分ごと化／行動する力



フリーランスデザイナー
築上町集落支援員
加藤 詩乃 氏

好きな町を、「行動」で伝える。

「まず、やってみる。好きから始まる地域づくり。」



古民家スタジオカフェ
「おた福」店主／デザイナー

大田 拓也 氏

地域に根ざすキャリアの築き方
古民家カフェから始まる、まちづくりのリアル

title

大田拓也氏の講義では、安定した会社員から地域起業家へと転身した実体験をもとに、「地域で挑戦する」という選択話を語っていただきました。

北九州市で育ち、自動車関連企業に約11年間勤務。その後、「古民家に住みたい」という純粋な想いをきっかけにみやこ町へ移住。築100年の古民家を改修し、「古民家カフェおた福」を開業しました。

講義では、地方移住のメリット・デメリットを率直に紹介しながらも、「ないものは自分でつくればいい」という姿勢を強調。カフェ運営を起点に、子ども食堂の

開催、駅前イベントの企画、商店街活性化など、地域と共に価値を生み出してきた取り組みが紹介されました。

特に印象的だったのは、「好きなことを公言することで仲間が集まる」というメッセージ。挑戦は特別な才能ではなく、小さな一歩から始まるという言葉は、参加者の心に強く残りました。

地域で生きる道は一つではない。自分の「好き」を起点に行動することが、新しい未来をつくる。

大田氏の実践は、その可能性を具体的に示す時間となりました。

■Three Key Points ——— 行動力／挑戦する力／地域とつながる

講義02

グループワークA／対話ワーク

初日のグループワークAでは、自己紹介や共通点探しを通して互いを知り、安心して意見を出せる関係づくりからスタートしました。講義後には学びや気づきを共有し、一人の学びをグループ全体の学びへと広げました。課題解決ワーク「ペーパータワー」では、作戦会議・実践・振り返りを繰り返しながら、役割分担や改善の大切さを体験。失敗を次につなげる姿勢を学びました。さらに対話ワークでは、「否定しない」「さえぎらない」を大切にしながらテーマごとに語り合い、多様な価値観に触れる時間に。協働する力と伝える力を高める一日となりました。

話し合うことで
答えは深まる。



08:00..... グループワークB
10:35..... 講義 03
13:00..... 講義 04
14:40..... グループワークC
17:00..... 2DAYS終了



グループワークB

2日目のグループワークBでは、「地元を好きになる中学生を増やすために」というテーマのもと、現状・理想・課題を整理しながら解決策を考えました。まずは事前課題を振り返り、地域の現状を付箋に書き出して共有。似た意見を分類し、キーワード化することで課題を可視化しました。

さらに「なぜそうなるのか」と原因を深掘りし、本質的な問題を探究。表面的な意見にとどまらず、現状と理想との「GAP(差)」を埋めるために何が必要かを具体的に議論しました。自分たちの視点で地域を見つめ直し、社会は自分たちで変えられるという意識を育む時間となりました。

地域を“自分ごと”に。考え、動き出す。



講義03

地域創生とキャリア形成における「計画的偶発性」の重要性

title

吉田翔太氏の講義では「計画的偶発性(Planned Happenstance)」というキャリア理論を軸に、地域創生と生き方について学びました。

吉田氏は、JR九州で18年間、新幹線の安全を支えるATCシステムを担当する技術者として活躍。その後、大きなキャリア転換を経て、現在は故郷・豊前市で地域企業の魅力を発信する「豊前しごと図鑑」を運営しています。

講義では、「キャリアの8割は予期せぬ偶然で決まる」という理論を紹介。偶然をチャンスに変

えるために必要な【好奇心・持続性・柔軟性・楽観性・挑戦心】の5つの姿勢が語られました。

また、自身がJR社員として挑戦し一度は落選した宇島駅再生プロジェクトに、民間の立場で再挑戦している現在の取り組みも紹介。行動し続けることで、偶然はつながり、未来は動き出すことを体現する講義となりました。

「計画通りではなくてもいい」「動くことが未来をつくる」という新たな視点を得る時間となりました。



株式会社ころど 豊前しごと図鑑 編集長 吉田 翔太 氏

偶然は、待つものじゃない。動くことで、つくり出すもの。

■Three Key Points —— 偶然をチャンスに／まず行動／地域を動かす

ありのままの自分で、挑戦している。



ブローザ・ベスト株式会社 代表取締役社長 SNSクリエイター 溝端 祥子 氏

自分を知り、未来を切り拓く。

title

溝端祥子氏の講義では、警察官として活躍した後、語学留学や起業を経て地元へ戻り、現在はマーケティング会社を設立し地域の魅力を発信している自身の歩みをもとに、「自分を知ること」が未来を切り拓く力になると力強く語られました。

かつては自己肯定感が低く、「どうせ自分なんか」と挑戦を避けていたという過去。しかし、警察官試験の合格という成功体験をきっかけに、自信を少しずつ積み重ね、自ら人生を選び取ってきた。そのリアルな体験談は、参加者の心に強く響きました。

講義では「好きなこと・得意なこと・大事なこと」の3つの柱を用いた自己分析ワークを実施。自分の強みや価値観を言葉にし、それを地域や学校でどう活かせるかをグループで共有。自分自身と真剣に向き合う姿が会場のあちこちで見られました。

「枠にとらわれず、自分らしく挑戦していい」。その熱いメッセージは、参加者一人ひとりの背中を押し、未来へ踏み出す勇気と確かな自信を育む時間となりました。

■Three Key Points —— 自分らしさ／成功体験／行動

講義04

2日目最後のグループワークCでは、「現状」「理想」「GAP」を整理し、京築地域の未来を具体的に描く思考に取り組みました。地域の現状を言語化し、「どうなってほしいか」という理想を描く。その差が“問題”、埋めるための行動が“課題”であることを学びました。発想トレーニングでは「学校生活を10倍楽しくする方法」をテーマにアイデアを書き出し、本番では実現可能性や効果を基準に選定。「なぜ今までできていないのか」と問い直し、5WIHで具体化。最後は中学生へのヒアリングが宿題として示され、思考を“行動”へつなく学びとなりました。

グループワークC

後半プログラム 11月に向けての宿題提示

「地元を好きになる中学生を増やすためには？」
アイデアが効果的なものを
1か月の間に最低でも
5人にヒアリングする!

2025

11.15 SAT

3 DAY

08:30 集合／受付

09:00 西日本工業大学キャンパスツアー
講義 05

13:20 グループワークD

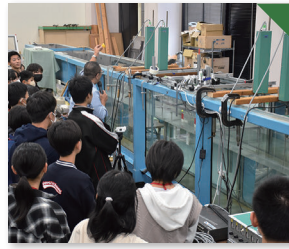
16:30 プレゼン講習

21:30 作文ワーク

西日本工業大学キャンパスツアー



01. 図書館



02. 流水実験



03.e-sports 部



04. 屋上



05. ドローン撮影

3日目は西日本工業大学を訪れ、キャンパスツアーと西村健司氏による講義を受講しました。講義では、京築地域の「今」と「未来」について、人口減少や高齢化、交通格差、産業構造などの具体的なデータをもとに解説。数字から見える現実を通

して、地域課題を自分たちの将来と結びつけて考える時間となりました。また、図書館や流水実験、e-sports部、屋上、ドローン撮影など、大学ならではの多彩な学びの現場を見学し、生徒たちの視野は大きく広がりました。

講義05

生まれ育った地域を誇りに思うために

title

西村健司氏の講義では、京築地域の「今」と「未来」を、具体的なデータをもとに読み解きました。人口は5年間で約7,200人減少する予測で、高齢化率は32.82%と県平均・全国平均を上回ります。数字はただの統計ではなく、私たちの暮らしそのものを映す現実です。将来、自分たちが働き、暮らしていく地域がどのように変化していくのかを、真剣に考える時間となりました。

さらに、地域内の公共交通の本数格差や、自動車関連産業に依存する経済構造にも焦点を当てました。

もし主要産業が縮小したらどうなるのか。交通の利便性は進学や就職の選択肢にどう影響するのか。身近な生活と地域構造が密接につながっていることを知り、課題は決して遠い話ではないと実感しました。

一方で、京築には豊かな自然や歴史、ものづくりの技術といった大きな可能性もあります。課題を知ること、地域を悲観するためではなく、未来を描くための第一歩です。最後に投げかけられた問いは、生徒一人ひとりに「自分なら何ができるか」と考えさせ、地域を「自分ごと」として捉えるきっかけとなりました。

■Three Key Points 人口減少／高齢化／地域の可能性



西日本工業大学
地域・産学連携センター 客員講師
西村 健司 氏

知ることが、未来を変える第一歩。

グループワークD

3日目のグループワークDでは、前半プログラムで宿題として出された「地元を好きになる中学生を増やすには？」というテーマに、本気で向き合う時間となりました。事前の宿題の結果を持ち寄り、現状・理想・GAPを整理し直しながら、「なぜ今できていないのか」と原因を深掘り。感想で終わらせず、実現可能性と効果を基準にアイデアを絞り込み、5WIHで具体化しました。考えるだけでなく、「動き出す提案」へと仕上げる挑戦の場となりました。



プレゼン講習

プレゼン講習を実施し、伝える内容だけでなく、「誰に・何を・どう届けるか」を意識する大切さを学びました。構成や話し方、視線、声の大きさまで具体的に学び、グループワークで練り上げたアイデアを、相手の心に届く言葉へと磨き上げる時間となりました。自分の考えを自信を持って伝える力を育む、実践的な講習となりました。

作文ワーク

作文ワークでは、宿題として取り組んできた「自分はどんな人生を歩みたいのか」というテーマの作文を、あらためて読み直しました。お互いに意見を交わしながら、本当に自分の思いが伝わる内容になっているかを確認し、言葉を磨いていきました。自分の本音や将来への思いを見つめ直す時間となり、進路や生き方を主体的に考えるきっかけとなりました。

2025
11.16 SUN 4 DAY

08:00..... グループ発表準備
13:00..... 発表
グループ・個人
15:30..... 閉講式

最終発表に向け、4日目の午前中はグループごとに発表準備を行いました。これまでの講義や対話、ヒアリングで得たことを振り返り、「何を伝えたいのか」「なぜこのテーマに取り組むのか」を改めて言語化していきます。アイデアの背景にある想いや課題意識まで

掘り下げました。スライドの順番を組み替え、原稿を作成し、仲間同士でフィードバックを重ねる。その一つひとつの積み重ねが、自信を与えていきます。自分たちの言葉で語れるまで向き合うことで、発表が「課題提出」ではなく「未来への宣言」へと変わっていきます。

グループ発表準備



最終プレゼン/グループ発表 発表テーマ: 地元を好きになる中学生を増やすために

最終プレゼンでは「地元を好きになる中学生を増やすために」をテーマに、各班が現状と理想のGAPから解決策を提案しました。

Team name チーム白米

地元中学生が誇りを持てるよう「京築祭」の開催を提案。既存イベントへの参加から始め、SNS発信で認知を広げ、段階的に規模拡大へ。eスポーツ、壁アート、釣り、ステージなど“中学生が来なくなる仕掛け”で参加の入口をつくる。

Team name 下積み時代のChatGPT

「人が集まる京築」を目指し、若者がワクワクする施設づくりを提案。VRや近未来体験などを備えた“日本にない遊園地”を構想し、刈田の日産と連携することで唯一性と発信力を高める。集客から収益へ再投資の循環で地域を発展させたい。

Team name We love からあげ

幅広い世代が地元を好きになるため、外の視点を借りて魅力を再発見する「京築探検ツアー」を提案。中学生が観光ガイドとして関わり、調査や取材を通して“自分の言葉で語る力”と誇りを育てる。赤レンガ・カフェ・地元の食などを題材に発信へ。

Team name ご飯ですよ

地元を好きになる鍵は「夢に向けて行動できる人」を増やすこと。努力が見えにくい現状を変えるため、週1回「シェアハピ会」で頑張りや努力を褒め合い共有する案を提示。家族や先生、友達と夢や目標を話す習慣が、挑戦の土台になるとまとめた。

Team name Official 6班 dism

地元の良さを知る機会が少ないことを課題に、みらい塾のような学びや交流の場を増やす提案。参加しない層には「分かりやすい説明」「新しい人と関わるきっかけづくり」が有効と整理。友達を誘う、将来スタッフとして関わるなど継続の動線も示した。

Team name 髪あるおじいちゃんの孫

京築に興味がない層も含めて“知るきっかけ”を増やすため、SNSとチラシで情報発信。中学生が企画するイベント(いちじくの体験教室など)を例に、参加者の拡散を促す仕掛けも提案した。認知が広がりが人が増えれば、遊び場などの要望実現にもつながるとした。

最終プレゼン/個人発表

発表テーマ: 自分はどんな人生を歩みたいのか
~京築みらい塾は自分の人生にどんな影響を与えたか~



続く個人発表では、「自分はどんな人生を歩みたいのか」を自分の言葉で振り返り、学びをこれからの一歩へつなげました。地域の未来を語る視点と、自分の未来を描く視点。その両方が重なり、4日間の学びが確かな決意へと変わる時間となりました。



閉講式

4日間の学びを振り返りながら、仲間とともに成長を実感し、未来への一歩を踏み出す閉講式となりました。

5 About the Instructors 人の京築みらい塾

講師紹介

Instructors FILE 1
フリーランスデザイナー
築上町集落支援員
加藤 詩乃 氏

key word #地域おこし #デザイン



愛知県瀬戸市出身。大学では建築やまちづくりを学ぶ。前職ではインハウスデザイナーとして、自社製品のチラシやパッケージデザイン等を作成。2022年1月より築上町地域おこし協力隊としてUターン移住。任期後はミツケタデザインという屋号で、築上町に拠点を置き、個人事業主としてデザイナーをしながら築上町集落支援員として移住・定住業務に携わっている。

Kato Shino

Instructors FILE 1
古民家スタジオカフェ
「おた福」店主/デザイナー
大田 拓也 氏

key word #地域再生 #古民家活用



福岡県北九州市出身。高校卒業後、自動車関連会社に入社し、社会人としての経験を詰んだ後、みやこ町へ移住。古民家をリフォームしてカフェをオープンし、人と自然がゆるやかにつながるコミュニケーションの場を提供している。さらに、商店街エリアの活性化にも取り組みながら、新しい挑戦をする人や芸術家を応援する交流の場づくりにも力を注いでいる。

Ota Takuya

Instructors FILE 1
株式会社ことろど
豊前しごと図鑑 編集長
吉田 翔太 氏

key word #Uターン #キャリアの再選択



福岡県豊前市出身。2017年4月に新卒でJR九州入社。直近では西九州新幹線の開業プロジェクトに参画し、列車制御システムを設計。2024年10月、JR九州を退社し、現職に就任。地元豊前市にUターン。現在は求人メディア「豊前しごと図鑑」の運営、データ分析に基づく自治体の政策立案の支援に携わる。

Yoshida Shohta

Instructors FILE 1
ブローザ・ベスト株式会社
代表取締役社長
SNSクリエイター
溝端 祥子 氏

key word #地元発信 #ブランディング



行橋市出身。地元の高校を卒業後京都府警に勤務。交番勤務やDJボリスなど幅広く経験を積む。2023年より行橋市を拠点に「金髪ちゃん」として活動を開始し、地域の魅力発信やイベント企画等を行う。Instagramにおけるフォロワー数は1.9万人。社会に多様な選択肢を広げ「自分らしく生きられる人を増やす」ことを理念に、京築から全国へ発信を続けている。

Mizobata Shoko

Instructors FILE 1
西日本工業大学
地域・産学連携センター 客員講師
西村 健司 氏

key word #地域課題解決 #まちづくり



行橋市出身。民間都市計画コンサルタント勤務を経て独立、地域づくりを推進。現在は、西日本工業大学客員講師として北九州学や京築学担当。地域では、北九州市買い物支援コーディネーターや防災ファシリテーター、子ども食堂ネットワーク北九州事務局として、地域課題を解決するための活動をおこなっている。

Nishimura Kenji

講師の活動はこちらからQRコードでチェック

加藤さんデザイン事務所
ミツケタデザイン [Check!](#) 

大田さん
古民家カフェおた福 [Check!](#) 

吉田さん
豊前しごと図鑑 [Check!](#) 

溝端さんインスタアカウント
@kinpatsu_project [Check!](#) 

◆西日本工業大学 おおせキャンパス

西日本工業大学は1967年に開学した私立大学で、工学部とデザイン学部を設置し、「実践力」を大切にしている。企業や自治体と連携したプロジェクト型学習も多く、地域や社会の課題解決に挑戦できる環境が整っています。少人数制の指導のもと、専門知識だけでなく、自ら考え行動する力を育てています。

おおせキャンパス(苅田町)は工学部の拠点で、最新の実験設備や研究施設を備え、ものづくりや先端技術を実践的に学べるのが特徴です。地域に開かれた大学として、産学官連携や地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



福岡県京都郡苅田町新津1丁目11
西日本工業大学ホームページ▶



● 数字で見る、4日間の成長

File.01

99点

多くの仲間と出会い、京築や大学の魅力を知り、沢山のことを学べた貴重な時間でした。

File.02

89点

仲間との出会いを通して、自分を見つめ直すことができました。

File.03

60点

自分の考えが一番ではないと学び、失敗を恐れず行動する大切さを知りました。

File.04

80点

仲間と協力して発表をやり遂げ、地域の魅力を知り京築がより好きになりました。

京築みらい塾を通して
生徒たちの自己評価

計24名平均点

90.9点

生徒一人ひとりがこの4日間のプログラムを通して、自分自身の変化や成長を実感しました。「積極的に発言できた」「仲間と協力できた」「自分の強みに気づけた」など、多くの前向きな声が寄せられています。また、「次はこうしたい」「もっと挑戦したい」という言葉も多く見られ、成長への意欲が芽生えていることも大きな成果です。この経験が、これから壁にぶつかったときの支えとなり、今後の学校生活や将来への一歩につながっていくことを願っています。

File.05

95点

まだ不安はあるものの以前より積極的に話せるようになり2泊4日で大きく成長できました。

File.06

98点

自信をつけて成長できた貴重な経験でした。次回も参加したいです。

File.07

90点

多様な意見から学びを得て、今後に活かしたいと思いました。ありがとうございました。

File.08

50点

やっと自分から話したり質問したりできるようになった。自分はまだまだこれからだと思ったから。

File.09

100点

仲間と過ごした4日間で勇気を得て、生徒会副会長に立候補しました！

File.10

100点

帰る時に先生から「めっちゃ成長した気がするよ」と言われたから。

● アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることができたかを把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

アンケート実施方法 01

プログラムの初日と最終日に同様の質問に回答してもらう。

アンケート実施方法 02

5項目について参加前後で向上するかどうかを調査。

アンケート実施方法 03

各項目に対し4つの質問で構成して1~4の4段階で評価する。

5項目の質問内容

- 01.愛される力 何かしてもらったらすぐに感謝の言葉を伝える
- 02.セルフイメージ 自分の長所や強みについてよく分かっている
- 03.コミュニケーション 話を聞き、自発的に質問、意識してうなずいて聞いた
- 04.目標達成 難しいことは自ら積極的に、素直に助けを求める
- 05.考える力 新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

+0.14 UP ↑



01.愛される力

+0.12 UP ↑



02.セルフイメージ

+0.19 UP ↑



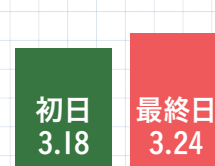
03.コミュニケーション

+0.19 UP ↑



04.目標達成

+0.06 UP ↑



05.考える力



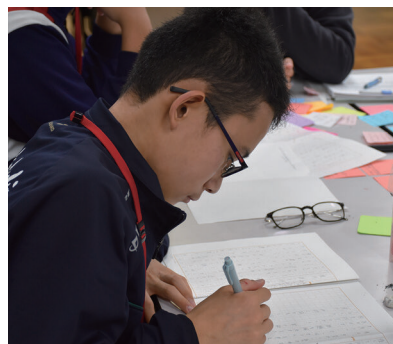
若き挑戦が 京築地域の 未来をつくる

2025年、京築みらい塾は新たな
一歩を踏み出しました。
京築地域で暮らす中学生たちが集まり、
語り合い、考え、挑戦した4日間。
現状を見つめ、理想を描き、
「自分たちに何ができるか」を
本気で考えました。
驚きや発見、そして少しの勇氣。
仲間と出会い、自分と向き合った時間は、
確かな自信へと変わっていきました。
この経験が、これからの京築で、
力強く芽吹いていくことを願っています。



京築みらい塾

プログラムの様子はこちらから▼



Project
Details

● プログラム企画・運営・報告書作成
一般社団法人 Local Education

Instagram



Local
Education
ホームページ



(一社) Local Education
代表理事 北 敢

2024年3月に福岡県で創業したLocal Educationは、現役高校教員によって設立された「地域の教育」を担っていく法人です。「すべての人が『自己決定』できる社会」を目指し、地域に根差した教育を推進し、大人から子供まですべての人たちの可能性を最大限に引き出します。キャリア教育事業として、自治体からの業務委託としてキャリア教育を推進したり、地元企業の若手社員向けの研修会なども実施をしています。

